

市民がつくる  
市民が学ぶ  
市民が拓く  
生涯学習情報誌

# Stage

月刊ステージ・アップ

---

# up

'97

9

月号【1日発行】

新百合21ホールで'97 TARO展

市民アカデミーの聴講生募集中



いまを話す

百合ヶ丘ファミリー  
・アンサンブルの  
樋口真理さん  
野村満男さん  
音楽感じあう「地域家族」  
くらしに溶け込み信頼の絆

Stage Up 9 月号もくじ/1997年

■ほんねインタビュー いまを話す  
百合ヶ丘ファミリー・アンサンブルの

野村満男さんと樋口真理さん

音楽感じあう「地域家族」

くらしに溶け込み信頼の絆

◆かわさき市民アカデミー聴講生募集

■はりきってます グループ紹介

母と子が交流し学ぶ

P・M・C(麻生区)

短編小説で自己表現する

回転木馬の会(宮前区)

●学習・文化情報

◇初めてふれるパソコン講座II

◇TOEIC初級・中級、社労士

□読者の声/編集後記

◇'97 TARO展

◇表紙絵……麻生区の王禪寺ふるさと公園で水と戯れる子供

杉本 繁さん

(小誌は再生紙を使用しています)

9月10日から いきいき学ぶ! 動く! 多彩な楽しいイベント

かわさき市民アカデミー学園祭 申し込みは☎で受付中

第3回かわさき市民アカデミー学園祭が、9月10日から16日まで武蔵小杉周辺や新百合ヶ丘周辺などで開きます。今回は、内容もいっそう充実し、多彩なジャンルのイベントになります。市民のみみなさまのおいでをお待ちしています。

(新百合21ビル 新百合ヶ丘駅下車) ●10日(水)~16日(火)10時、わたしが作る「まちづくり」展示▽同12時、絵画・版画・写真などの作品展示●12日(金)10時、住み慣れた地域で生きるために▽同13時、高齢者にやさしい住まい▽同13時半、会員と教授による政治・国際課題研究発表▽同15時、住宅改造プラン●13日(土)10時、フリーマーケット~東和町コーナーも▽同11時、小さな朗読発表会▽同13時、まちづくり体験の技法と実践~ワークショップ▽同13時半、新聞はいま何を問われているか●14日(日)14時、長唄演奏▽同13時、健康の集い~講演と実技●15日(祝)10時、講演~近代西洋絵画の自画像の系譜・ロートレックからゴッホへ▽同12時半、市民アカデミー文学賞表彰式▽同13時半、講演~ダイオキシン問題を考える(「フリーマーケット」

のみ、麻生区役所前広場)

(フィールドワーク) ●11日(木)13時、谷中・根津・千駄木を歩く●12日(金)13時、樹木ウォッチング●16日(火)10時、歴史の里王禪寺を歩く(保険料各百円、資料代・交通費など自己負担)

(中小企業・婦人会館 武蔵小杉駅下車) ●11日(木)10時、講演~第3世界に生きる人達▽同13時、講演~死をまもるといふこと●12日(金)13時、ペットボトル・ロケットの魅力(「ペットボトル……」は参加費千円)

◆申し込み、問い合わせは☎(422)3932の「かわさき市民アカデミー事務局」。また「フリーマーケット」の出店申し込み、問い合わせは、月・火・木・金曜に☎(411)7773の「かわさき市民フロンティア事務局」



小誌スタッフ応募者への  
テスト問題とそのネライ

〈下〉

応募者は面接試験の後、文章力テストに取り組んだ。問題は次の通りである。

次の資料に基づいて、ワープロで新聞の原稿(記事)にしてください(時間は30分間▽はじめに氏名を打つ▽時間がきたら途中で中止▽プリントをする。注:他に書式設定の指定あり)。

管内における連続ひったくり事犯についての広報

平成×年5月20日

神奈川県警察本部  
川崎中部警察署

1、被害者 川崎市中原区中小杉1234、会社員、古田恵子。22才。  
2、被疑者 無灯火のバイクに乗った20才25才の2人組の男。2人と身長175センチ前後。黒っぽいTシャツにジーンズを着用。

3、事件概要 被害者は、東京都中央区の日猫物産に勤務する者であるが、5月19日午後8時まで残業をして、その後、同僚らと新橋の飲食店「うまいでえ」で飲食した後、JRに乗り武蔵小杉駅で下車。徒歩で

文章力 問われる「何を伝えるか」  
基本と原則の応用弱く

5 W 1 H 明快・正確・簡潔

帰宅途中の同日午後11時45分ごろ、川崎市中原区中小杉1231の市道にさしかかったところ、手に持っていたハンドバッグをバイクに乗った後ろからきた2人組の男にひたたくられたものである。犯人はそのまま逃走した。本署管内では同日15日から連日、同じ人物の犯行と思慮され

る1人歩きの女性を狙ったひったくり事件が7件発生しており、本警察署は被疑者の逮捕に全力をあげているところである。また、目撃者を探しているところである。  
4、盗品 ハンドバッグ(現金2万3千円の入った赤色財布、自動車免許証、キャッシュカード1枚、クレジットカード2枚)。  
19日午後11時45分ごろ、川崎市中原区中小杉の市道で、近くに住む会社員、A子さん(22)は後ろから来たバイクに乗った2人組の男に現金

2万3千円入りハンドバッグをひたたくられた。男はそのまま逃走した。川崎中部署の調べによると、男はいずれも20歳から25歳で身長175センチ前後、黒っぽいTシャツにジーンズを着けていた。中原区内では15日から連日、同一犯と思われるひたたくり事件が7件発生している。

「出題のネライ」  
前回、「記事を書く際の原則は、明快▽正確▽簡潔」であると述べた。この当たり前のことが、実際にナマ

合格ラインに達したのはEさんとJさん(37)の2人で、結局、11人中、合格ライン到達者は計3人という寂しい結果だった。

「文章の基本は5W1H」であることはすでに記した。ありふれた事件の原稿は、5W1Hを簡単に使い文章にできる。ある受験者は「時間が30分間と短く、焦って」としているが、本当に時間が短すぎたのか。出題の資料をゆくり読んで3分しかかからず、2回読んでも9分以内である。記事にするためのワープロを打つ時間は約20分もある。

取材の基本は、5W1Hに基づいて質問し、取材対象者の発言要旨を正確にメモすることである。資料を読むときも、正確さが求められる。ところが、回答の中には「19日午後11時45分」を警察発表の「15日」と誤記、時間に「午前」「午後」が抜け、被害者の「会社員」をわざわざ(会社員)と丸かっこで囲むなどの回答もあった。

の原稿を書くとき、生かされるかが出題の第1の目的である。第2の目的は、ニュースバリューをどう見るかだ。ニュースバリューが高ければ前文をつけるが、低いときは必要としない。  
ほぼ完全な原稿だったのは、EとJが興味で編集経験のあるEさん(48)だけだった。受験者11人のうち、日時を間違えたり、記述のダブりが多いなど「記事を書く際の3原則」を逸脱した人や個条書きにした人が半数以上いた。また、ライター・編集経験者の応募が4人あったが、合格ラインに達したのはEさんとJさん(37)の2人で、結局、11人中、合格ライン到達者は計3人という寂しい結果だった。  
「文章の基本は5W1H」であることはすでに記した。ありふれた事件の原稿は、5W1Hを簡単に使い文章にできる。ある受験者は「時間が30分間と短く、焦って」としているが、本当に時間が短すぎたのか。出題の資料をゆくり読んで3分しかかからず、2回読んでも9分以内である。記事にするためのワープロを打つ時間は約20分もある。取材の基本は、5W1Hに基づいて質問し、取材対象者の発言要旨を正確にメモすることである。資料を読むときも、正確さが求められる。ところが、回答の中には「19日午後11時45分」を警察発表の「15日」と誤記、時間に「午前」「午後」が抜け、被害者の「会社員」をわざわざ(会社員)と丸かっこで囲むなどの回答もあった。  
さらに、ライターは絶えず「なにを書き、なにを伝えるか」が問われるが、盗まれた「現金2万3千円」が欠落し、「ハンドバッグ」だけを記した人もあった。  
応募者全員が今後、「読む人から書く人」を目指し努力することを心から期待したい(終わり)。



# いまを話す

百合ヶ丘ファミリー・アンサンブルの

ゲスト

指導者 野村 満男 さん

団員 樋口 真理 さん

Vol. 57



野村満男さん

## 音楽感じあう“地域家族” くらしに溶け込み信頼の絆

百合ヶ丘ファミリー・アンサンブルのメンバーは、二世代にわたる九家族二十数人。指導者の野村満男さんは「第一世代は譜読みもままならなかつた」と結成当時の二十四年前を振り返る。四歳だった樋口真理さんは現在、パリでヴァイオリンを奏でる。メンバー全員が音楽を感じ合い、高い水準の室内楽団に成長した。同時に、心が通じ合う家族のような信頼の絆で結ばれた。いま「働き蜂」は、会社中心の生き方に疑問を持つ。芸術・文化を教育の対立物として子供から遮断し、その生きる力さえ奪った大人も困惑する。同アンサンブルの足跡は、地域社会に生きる意味に強い示唆を与える。インタビューはFM K-Cityアナウンサーの秋山雅子さん。

——六月中旬に開かれた麻生音楽祭で、百合ヶ丘ファミリー・アンサンブルの演奏をとっても楽しく聴かせていただきました。

野村さん ありがとうございます。ここ数年の演奏は、われわれが演奏していて楽しく、市民に慣れ親しみやすい、ちよつと旋律を聴いただけで、先がわかるようなウィーン音楽に取り組んでいます。——その代表格がヨハン・シュトラウスですが、「ヨハン・シュトラウス二世だけがウィーン音楽を

代表する作曲家ではない」と感じる選曲のような気がします。

野村さん そうなんです。ですから、ヨハン・シュトラウス二世の曲はわざとやらない(笑い)。

——どういった作曲家が……。

野村さん シュトラウスより、ちよつと後の世代になりますが、ツイーラーという生粋のウィーンつ子がいます。この人は、ハプスブルグ末期(一九世紀末)の軍隊長だったので。シュトラウスの曲より取っ付きやすく、われわれ向きだということで大変気に入っています。もちろん、われわれの技術に合うようにアレンジしなくてはなりませんけれど。

——編曲もなさるんですか。

野村さん そうです。

——ここで、パリに滞在して、ご活躍の樋口真理さんにお聞きします。麻生音楽祭でヴァイオリンを弾いていらつしやいましたか。

樋口さん 私は、五年ぶりの百合ヶ丘ファミリー・アンサンブルだったので、演奏しながらいろいろなことを思い出し、久しぶりに楽しいひとときでした。

——真理さんにとつての音楽の出会い、このアンサンブルから



ほんねインタビュー

# 市民が楽しむ選曲を 野村さん 四歳でおじさん達と 樋口さん

なのでしょか。

樋口さん そうです。このアンサンブルが始まったのが四歳のときで、ヴァイオリンを始めたのとほぼ同時期でした。弾くというよりは、構えるだけのころからおじさんたちと音楽をしていたのです。

——おじさんたちと(笑い)。

樋口さん 音楽をしないときは、大人と子供の関係でしたけれど、音楽をするときは、レベルのあまり違わない仲間という感じでした。——お父様は音楽に造詣の深い方だったようですね。

樋口さん ええ、どちらかという、弾くより聴いたり分析したりするほうが好きでした。

野村さん それが、実に多方面にわたっていましてね。ドイツ音楽はもちろん、フランス音楽が好きでした。いま、こうして過去形で申し上げるのは、最近亡くなられたからなんです(しんみりと)。

——心からお悔やみを申し上げます

ます。残念なことですね。

野村さん アンサンブルにとっても大変な打撃です。真理さんのお父さんの仕事は、音楽とは直接関係のないエンジニアでした。しかし、アンサンブルの選曲から方針までの事実上の音楽監督でした。日本にはフォーレ(フランス。一八四五〜一九二四年。サン||サーンスの弟子)を満足に解説した書物が少ないのですが「フォーレを



樋口真理さん

ちゃんと説明してある辞典は信頼できる」との基準をお持ちでした。——つまり、専門家以上の分析をなさっていたのですね。

野村さん ええ。それでいて、ウィーンの音楽の中でも、庶民的なシユランメルの曲を二十年以上前に生で聴いていらして、日本にその楽譜を持ち帰ってくださいました。後から思えば「会議は踊る」という映画の中で演奏された曲に、シユランメルの演奏があったのです。そういう曲の楽器編成は、われわれにはすぐできるんです。

——どういう編成になりますか。  
野村さん ヴァイオリン二本とクラリネットとコントラギターと

いう特殊なギターを使います。

——野村さんはチェンバロの製作、演奏もなさるようですが、いつごろから始められたのですか。

野村さん アンサンブルを始め

## 野村 満男 さん

のむら・みつを=1934年、北九州生まれ。少年期を中国東北地方で過ごし、コサック兵の男声合唱を聴き音楽に目覚める。高知大で理科、東京芸術大で作曲専攻。73年、百合ヶ丘ファミリー・アンサンブル結成。65年からチェンバロ製作、77年にNHK「趣味の手帳」に出演。93年、アンサンブル20周年記念演奏会。元都立芸術高校教諭。東邦音楽短大講師。自宅は麻生区王禅寺。

## 樋口 真理 さん

ひぐち・まり=1969年、横浜生まれ。4歳からヴァイオリンを始め、父母と同アンサンブルメンバーに。桐朋学園大音楽学部在学中、草津夏季国際音楽アカデミーでヴァイオリンのD. エルリーに出会い90年、フランスへ留学。パリ国立コンセルヴァトワールなどのヴァイオリンと室内楽クラスを卒業、同オーケストラに2年在籍。多くの演奏会に出演。自宅は横浜市港南区。



## メンバーは各分野の専門家 子育て、老人介護情報も

# 「音楽は神の贈り物」実感

る七、八年前からです。教員をしていたころ、学校で音楽的に最も基本的なものが集約されていて、音楽の基礎的技術を身につけるには何がいいだろうと考え、パロック・アンサンブルが一番適していると思ってきました。そして、リーダーの伴奏にはどうしてもチェンバロが必要だから作ろうと。

正しい音程が出ると思う方がいますが、決してそうではないんです。息の強さによっても微妙に変わります。その微妙なところできれいなハーモニーをつかむわけです。結局、これは耳の問題なんです。

野村さん もともと木工が好きで、二段鍵盤でしたら楽しみながら一年でできます。プロは、そんなペースではやっていけません。そのころ、一緒にやっていた仲間にはみんなプロになりましたね。

しかも、それは小学生時代に形成されるものですから、われわれの仲間の第一世代はその問題点を多少引きずっていますね。

——お話の中で、いろいろな楽器が出てきましたが、このアンサンブルも最初はリコーダーから始められたそうですね。

野村さん 大人になってからも楽しめず、音楽的可能性を持った表現力のある楽器ですから

野村さん そうです。リコーダーというの、正確に押さえれば

——ファミリリー・アンサンブルは、複数の家族が集まって結成さ



秋山雅子さん

れています。みなさんのお仕事もさまざまなようですね。

野村さん その良かったと思います。各方面のエキスパートがいますから話題が豊富です。私もコンピューターにいつの間にか触れられるようになりました。キーキ作りの名手もいらして、毎練習後のティータムを大切にせずおいしいケーキが出ます。ママさんだけ、旦那だけの趣味でもなく、ファミリリー単位なのがよかったです。当初は各家庭持ち回りの「おさらい会」をして、他家を訪問することができ、わが家の見直しができました。

——第一世代のお父様方の年代は、だいたい同じなんですか。

野村さん そうです。子供達の年齢もほぼ一緒に、子育てや老人

### 秋山 雅子 さん

あきやま・まさこ=1962年、甲府市生まれ。短大卒業後、NHK甲府、テレビ神奈川アナウンサーを経てフリー。現在、FM K-City「かわさきニューフラッシュ」「秋山雅子のモーニング・カフェ」パーソナリティ。公式行事やコンサートの司会、話し方についての講師も。多摩区中野島在住。



# “はい、もう一度指導”で 譜読みも×の第一世代が礎

介護の情報もたくさんいただきました。私どもにとつては、ラテン語のモットーにある「音楽は神の贈り物」なんです。

——すてきな関係を長く続けて



いらしたわけですね。

野村さん 鉄の組織という表現もありますけれど、われわれの場合、隔週の練習ですし、その結び付きは非常に緩やかです。しかし「継続は力なり」で実にいい関係にまで成熟したと思っています。「三人寄れば文殊の知恵」といいますが、複数ファミリーの知恵とパワーが大きかったのです。

——最近、そう実感なさるよう

なことがあったようですね。

野村さん ええ。真理ちゃんの父さんが亡くなりましたとき、私もお葬式の手伝いをしました。亡くなる前、パリで勉強しました。ちやんのヴァイオリンを本当に聴

いていただきました。実現しませんでしたので、お葬式のときに演奏して聴いていただきました。

——そうだったのですか。

野村さん お葬式の手伝いをしたことで、音楽の練習の指導をする立場を超えて「一つの家族の歴史に関わってきた」という深い思いと悲しみに浸っています。

樋口さん 私たち家族が、このアンサンブルになかったら、父の葬式で私が演奏することはなかったと思います。私の家族の歴史とほぼ同じ年月をともし、父をよく知って下さった方々の手で、父との別れにふさわしい葬式ができました。父もとても嬉しかったと思います(涙ぐみながら)。

——そのとき、真理さんのお父様が大好きだった曲を演奏なさったのですか。

野村さん フォーレが大好きでしたから「レクイエム」のCDも合間に使いましたが、われわれの演奏は葬送行進曲的なものは控えて、ご一緒に演奏して楽しかったウイーンものをやりました。

——お父様にとって、何よりのお見送りだったでしょうね。

樋口さん はい。

——こうなりますと、このアンサンブルの家族同士の関係は、親戚以上のつながりですね。

野村さん 本当にそうです。

——真理さんにとつても、プライベートな面のお父様を教えてください。ださる方がいらして幸せですね。

樋口さん はい。今は、アンサンブルのお父さんたちが私のお父さんだと思っています。

——長く続いているのは、音楽を通して求めるものがあるから同じだったからでしょうか。

野村さん そうだと思います。最初のころ、私はリコーダーを教えるだけだと思っていたけれど、弦楽が加わってだんだん深みにはまったという感じでした。それにしても、譜読みもままならなかった第一世代の人達がよくついてきてくれたと思います。

——それぞれに仕事を持ちながらです。楽をしては決していけない音は出せませんから、大変な思いをなさったと思いますが。

樋口さん 先生が我慢強く、ねばり強く教えてくださったんです。

「はい、もう一度」が永遠に続くような根気強さです(微笑)。

野村さん ハーモニウム感、譜読みなどを総合してソルフェージュといいますが、ある時、そういう力をつけたほうが早道だと気付き、そういう基礎練習もやりました。一番成果が出たのが合唱練習で、合唱をすることでハーモニウム感がずいぶん進化しました。

——十周年記念に作成されたレコード・LP盤を聴かせていただき、とても温かい雰囲気を感じる







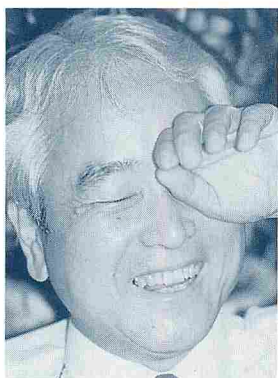
「ハウス・ミュージック(家庭音楽)でした。また、ジャケットの中のライナー・ノーツは、イラストを含めてすべて手づくり。曲の解説は見事な論文のようでしたね。」  
野村さん みんな凝り性ですか  
らね。音楽はイメージが大切です。とくに「感じる」ことが大事です。音楽を感じるには、演奏すること

が一番です。知識だけでは駄目です。曲の背景を知っていると、作曲家の逸話を知っていると、ことは大したことではないんです。——その「感じる」ことが、いまの教育、強いては生活全般から欠落してきているようですが。

野村さん そう。今は、知識重視の受験競争に勝ち抜くために、芸術・文化と教育を切り離して考えています。親が子供から伝統的美風であるお稽古事を遮断しています。これは大きな間違いです。ギリシヤ時代もそうでしたし、中世の「七つの学問」の中に音楽がありました。人類は音楽を重視してきましたのです。手を使って楽器を演奏すると脳の働きを良くします。押しつけはいけません、お稽古事は功績性と忍耐力を高めます。人間として大切な基礎が身につく、集中力が出てきますから、勉強の成績にも良い影響が出て、希望す

る学校へ進める人が多いのです。小さい時から音楽に触れると、人と感じ合うことが自然に身につきます。真・善・美のバランスがとれるのです。この数年、真を求めたはずの高校歴者の善ではない事件が続発していますが、大人は子供の感性を大事にしてほしいと思います。

——音楽を聴くこと、演奏することが生活の一部になるような文化が育つといいな、と思います。川崎市には、新百合ヶ丘周辺を「芸術のまち」にする構想があります。どのようにお考えですか。



野村さん プロの人達の商売に

## 人間づくりの基本は 真・善・美のバランス

高学歴者の  
犯罪の教訓

なる芸術のまちは不健全です。その象徴的な例が、メトロポリタン・オペラのS席六万円のチケットです。アマチュアをもっと大切にしてほしいと思います。プロの人達もアマチュアとの付き合いで得ることがたくさんあります。  
「プロとアマの人達が、気軽に出会える芸術のまち」を期待します。  
——たとえば……。

アマを大切にする  
「芸術のまち」を

野村さん 東京駅の「駅コン」、横浜マイカル本牧の野外ステージ演奏などの試みは面白い。構想実現の第一歩として、アマチュア音楽家が、気持ちよく練習できる場所をぜひ、作っていただきたい。音楽グループは、練習場所の確保に苦労しています。住宅街には自治会共有の土地があつて、そこを防災倉庫にしていますが、倉庫や避難所も兼ねた練習のできるスペースにしたらいと思います。運営は市民に任せればいいわけです。そこから「市民のための芸術のまち」が始まるような気がします。

題字は高橋清・川崎市長

構成／富樫 恭子

文責／田中 圀



# かわさき市民アカデミーの聴講生募集中

■期間は10～来年2月。No.6は1日。No.9、17、18、21は午後。他は午前  
 ■受講料は、No.6が15,000円、No.16が5,000円、他は各7,500円

No.	曜	講座名	会場
1	月	時といのちの歴史人類学	中小企業・ 婦人会館 (武蔵小杉)
2		道元を読む～自然としての人間、その生と死(2)	
3		自治と分権の政治学～分権化時代の市民自治	
4		日韓関係史	
5	火	新聞情報・テレビ情報の読み方	野外中心
6		川崎の自然観察～秋・冬編	
7	水	ジャポニズム～近代西洋美術と日本	新百合21ビル
8		日本語の文体とリズム	中小企業・ 婦人会館
9		川崎の歴史と地誌(2)	
10	木	20世紀の小説	新百合21ビル
11		身の回りの科学	中小企業・ 婦人会館
12		のぞいてみよう東ヨーロッパ～人・音楽・芸能	
13		ロシアとは何か	
14	金	地域の環境問題とボランティア	日本女子大学 西生田生涯学 習センター
15		経済と女性	
16		生活福祉の方法と展開	
17		高齢者の福祉と介護②～行政や市民活動のあり方	
18		居住環境計画	
19	都市民が「みどり」とつき合うとき	新百合21ビル	
20	土	川崎の将来を考える	中小企業・ 婦人会館
21		市民参加のまちづくり(2)	

●10・11月に開く夜間部の4講座も同時に募集します。  
 〈講座名／曜日／会場〉A・地域経済の活路を拓くII／水／川崎駅前タワーリパーク  
 ▽B・「いい父親」って何？男女で考える男性問題／火／中小企業・婦人会館▽C・

スポーツと健康／金／新百合21ビル▽D・育てよう人権、なくそういじめ／土／中小企業・婦人会館  
 〈時間〉AとCは18時半～20時半▽Bは18時45分～20時45分▽Dは14時～15時半  
 〈受講料〉A～Cは各4千円▽Dは無料

◆申し込み、問い合わせは ☎(422) 3932 のかわさき市民アカデミー事務局 (日曜・祝日は休み)  
 ◆各区役所・市民館・図書館に募集要項あり

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ 学び 活動する 生き生きと。



ちから  
地域をつなぐ力で  
子育ての不安解消

定例会は毎月一回。福祉パルあさおや麻生市民館などで講習やワッキング、パーティー、家族ぐるみのピクニックなどで一年のスケジュールがびっしり。

この日は、麻生消防署の消防士を招き、救急法の実習。「子供の水難事故だけでなく、滑り台からの転落やシヨック、成人では発作などで心臓が止まったとき、酸素が二分間送り込まれないと、脳細胞は死ぬ。救急車の到着時間の平均は五・五分。その「空白の五分間」が命を左右する」と同消防署の高嶋敏・消防司令が解説。会員はわが子の手をぎゅつと握る。

意識不明で心臓停止状態の人に見立てた人形に会員が心臓マッサージ。横に座り、ひざをつく。ひじを伸ばし心臓のポンプ部に手を重ね、真上から力を込め、十五回押す。髪が大きく揺れる。これを人工呼吸と交互に繰り返す。実習を終えた会員の息が乱れ、マッサージをした手をさする。

乳幼児への人工呼吸は、息の吹き込み方が「フツと軽く。強すぎると胃まで破裂する」ほど難しい。「強すぎましたか。加減が…」と戸惑い、首をかしげる。緊張のな

か、突然子供が人形に手を伸ばす。「お友達だと思ってるのかしら」と心とお雰囲気も漂う。

「実際はパニック状態になるかも」と三枝奈緒美さん(35)はため息。「万一のときは、救急車が来るまで続けて」と佐藤義男・消防司令補は強調。酸素が欠乏すると、脳に後遺症が残る危険があるからだ。

同会は今年で二年目。麻生市民館での乳幼児学級を修了したメンバーら有志で結成。楽しく学びあいながら、得手を生かし、心のきずなを深めている。

山崎直美さん(36)は「今日の体験を実際の行動につなげたい」と感想を述べる。

「じつくり学習できたのは少数のグループだから」とメリットを語る西村洋美さん(33)。

菱沼香由美さん(35)は「メンバーの顔を知っているから、子供が安心する。皆がバラエティーに富んだ才能を持っている」とうらやましいほどの仲間意識。

同代表宅は麻生区千代ヶ丘四の九の一六。☎(951)6031。

核家族のなかで、ときには不安や悩みを抱える子育て。気軽に話し合える仲間がいることが心強いと「P・M・C」(パワフル・マザーズ・クラブ)の中村敏子代表(37)。

ママたちが交流し学ぶ

パワフルマザーズクラブ  
P・M・C(麻生区)

戸惑い、首をかしげる。緊張のな

文 / 小誌・井上徳子  
カメラ / 小誌・菅原純子



はりきってます グループ紹介

短編小説で自己表現する

回転木馬の会 (宮前区)

読み書きが映像の手軽さに押され、文字離れといわれる昨今、小説を創作して自分を表現しているグループがある。「回転木馬の会」  
 府高幸夫代表(71)ら十一人は原稿用紙二十枚程度の短編小説を書き、互いの作品を批評し合い個性的表現を模索する。

同会は毎月第四木曜の夜六時半、宮前市民館で、文学に造けいの深い医学博士の小林勇さんと福岡義信さんを交互に招いて、創作方法の講義と有名作家の作品や会員の作品の合評を行っている。

この日は平成八年度下半期の芥川賞受賞作、辻仁成の「海峡の光」の合評。ストーリーは、少年刑務所の看守である主人公の所へ、小学校時代に自分をいじめた同級生花井が受刑者として登場するというもの。

「現実と回想を縦横にうまく組み立てていてすばらしい」情景描写が映画的で、場面転換が巧み。

特に青函連絡船の最後の航行の場面はすぐれている」と激賞する女性。出所が決まった花井の不可解な行動がなぜなのかを描き切れて

広がる世界楽しむ  
批評は創作の糧



いない」いじめのシーンは不自然。小学生があのような言葉を使うとは思えない」と鋭い指摘も。

ときには脱線し、作家の私生活の話から出産や恋愛の話題へ発展、大いに盛り上がる。終始アットホームで和やかな雰囲気にもまれていた。

同会は六年前、宮前市民館の成人学級「短編小説を書く」の修了

者有志で発足。会員の目標は、川崎文学賞の一席になること。今までに二人が一席になり複数が入賞している。毎年発行している同人誌「回転木馬」には、各会員の作品が一編ずつ収められている。

成人学級の時から指導している小林勇さん(69)は「皆さん読解力があり、成長が早い。非常に水準が高い」と賞賛。

「苦しい事も多いけれど、自分の世界が広がり楽しい。この会がなければ書いていないと思う」と西村啓子さん(67)。

「書くようになってよくモノを見るようになった。自分の中に埋もれているものを掘り起こす楽しさがある」と渡辺能江さん(68)。川島照子さん(46)は「話すのが苦手なので書いて自分を表現したい。どれくらい書けるか試したかった。皆さんの批評は弱点を看破してくれるので参考になる」。

府高代表は「締め切りがあると一生懸命書く。グループでやっているとお励みになる」と話す。

連絡は宮前区有馬五の八の一四  
 ☎(854)9510の同代表。

文 / 小誌・菅原純子  
 カメラ / 小誌・山本綾子

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと



学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

〔歴史講座〕大都市・江戸の発展と川崎市域◆市公文書館〕10月25日～11月8日の毎週土曜13時半から、全3回。講師は村上直・法政大名誉教授。教材費込み千800円。30人(抽選)。申し込みは10月3日(金)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、職業、☎番号を記し〒211-0101 中原区宮内4-1の1、同館・歴史講座係。☎(733)3933。

〔手話入門講習会〕市北部身体障害者福祉会館〕9月30日～11月11日(4日を除く)の毎週火曜10時から全6回。教材費のみ700円。45人(抽選)。申し込みは9月18日(木)までに往復はがきに講習会希望、住所、氏名、☎番号を記し〒213 高津区溝口172の3、同館。☎(811)6631。

〔市民法律講座〕市中小企業・婦人会館〕9月22日

市外局番のないものは044

学習・文化情報

10月6日の毎週月・木曜18時15分、全5回。自己破産、相続、離婚について横浜弁護士会川崎支部所属弁護士が講義。テキスト代込み千円。先着120人。申し込みは☎(200)2292の市広報部広聴相談課。〔知的所有権の最新動向〕特許を中心に◆県立川崎図書館〕10月16日～11月13日の毎週木曜13時半から、全5回。講師は盛岡一夫・東洋大教授。5千円。60人(抽選)。申し込みは9月2日(火)～30日(火)に往復はがきに住所、氏名(フリガナ)、年齢、職業、☎番号を記し〒210 川崎区富士見2の1の4、同館。問い合わせは☎(233)4537の同館産業資料部調査課。

〔インターネットが拓く新しい世界〕はじめてのインターネット◆大妻女子大学多摩校〕9月27日～11月1日(25日を除く)の毎週土曜13時から、全5回。講師は同大学教授。3千円。

先着50人。申し込みは9月17日(水)までに往復はがきに  
① 社会情報学部公開講座② 氏名(ふりがな)、性別、年齢③ 住所、☎番号④ 勤務先返信用にあて名を記し〒206 多摩市唐木田2の7の1、同大学事務部公開講座係。☎0423(72)9988。唐木田駅下車。  
〔①俳句を作ってみませんか②俳画をたのしむ◆登戸ドレスメーカー学院〕①は9月20日(土)13時から。講師は保坂リエ・くるみ俳句会主宰②は9月10日(水)13時から。講師は森部真珠さん。各千円。各先着20人。申し込みは午前中に☎(911)2221の同院・生涯学習部。向ヶ丘遊園駅下車。

〔球根草花の育て方講習会◆市緑化センター〕10月22日(水)13時半から。教材費700円。30人(抽選)。申し込みは9月30日(火)までに往復はがき(1人1枚)に講習会名、住所、氏名、☎番号を記し〒214 多摩区宿

河原6の14の1、同所。☎(911)2177。  
〔①銅版画講座②古文書を読んでみませんか〕中級編◆市民ミュージアム〕①は10月5日～11月23日の毎週日曜13時から、全8回。初中級者向き。教材費込み1万千円。15人(抽選)②は10月18日～11月15日の毎週土曜13時半から、全4回。申し込みは①9月17日(水)まで②9月20日(土)～10月4日(土)に往復はがき(1人1枚)に住所、氏名、年齢、☎番号、返信用にあて名を記し〒211 中原区等々力1の2、同館・各講座係。☎(754)4500。

〔労働講座◆県川崎労働センター〕9月24日(水)、25日～10月30日の毎週火・木曜18時半から、全12回。労基法や女性労働の動向。講師は島田陽一・早大教授他。2760円。50人。申し込みは☎(722)0171の同所へ申込書を請求。

〔継続学習講座◆玉川大学〕①器楽レッスンは9月12月の10回②油彩画は9月13日～12月6日の土曜14時から、全12回③毛筆書写の基本(秋期)は9月16日～11月11日の毎週火曜17時半から、全8回④音楽特別講座は9月18日～10月23日の毎週木曜17時半から、全6回。児童のための合唱⑤植物で染めるは9月27日～来年1月24日の土曜11時から全12回⑥インターネット講座(基本)は9月26日～11月21日の毎週金曜17時から全8回⑦パソコン入門は10月1日(水)～3日(金)18時から、全3回⑧秋の生き物ウォッチングは10月～12月の毎月第1金曜9時から、全3回⑨花の文化史は10月25日～11月29日の毎週土曜14時半から、全5回。受講料は1回3～7千円。問い合わせは☎0427(39)8895の同大学継続学習センター。玉川学園前駅下車。  
〔シンポジウム〕岡本一



学習・文化情報

参加したい催しがある

平の実像◆市市民ミュージアム」10月5日(日)14時から一平研究者らが討論。無料。先着30人。申し込みは9月12日(金)9時半から☎(754)45000の同館。

「秋期語学講座◆桜美林大学」①9月20日～12月6日の毎週土曜。英・独・仏・露など②9月27日～12月13日の毎週土曜。中国などおもにアジア諸国。いずれも全12回。入会金2千円。受講料は全回2～4万円。テキスト代別。各先着20人。申し込みは①9月8日(月)～17日(水)②同、24日(水)に☎0427(97)2661内線276の同大学生涯学習センター。JR淵野辺駅からスクールバス。

「手話入門講習会◆市中部身体障害者福祉会館」10月21日～11月25日の毎週火曜18時半から、全6回。テキスト代3百円。40人。申し込みは10月14日(火)までに往復はがきに手話教室希望住所、氏名、年齢、☎番号を記し〒211中原区小杉御殿町2の114の1、同館。☎(733)9675。

「建築と日本文化」連続講演会◆日本民家園」①9月21日(日)13時半から、日本の仏堂②10月11日(土)13時半から、ルネサンスの住宅建築を学ぶ。各千円。各40人(抽選)。申し込みは①9月12日(金)②27日(土)までに往復はがきに住所、氏名、☎番号、講座名、受講日を記し〒214多摩区枳形7の1の1、同園。☎(922)2181。

「自然教育トレーナー養成セミナー◆神奈川ユースホステル他」10月25日(土)26日(日)10時から▽11月9日(日)9時半から▽15日(土)18時から、全4回。16歳以上。2千円の定額小為替を入れ、往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、参加動機を記し〒223港北区箕輪町3の25の55の403、猪股雄輝方・同セミナー係へ申し込み。問い合わせはFAX045(564)5966の猪股さん。自然教育総合研究所主催。



「体験学習◆日本民家園」①9月21日(日)六ツ目ともぶち花籠を作る②10月19日(日)草木染め。いずれも10時から。各千円。各30人・抽選。申し込みは①9月12日(金)②10月9日(木)までに往復はがきに住所、氏名、☎番号、講座名、受講日を記し〒214多摩区枳形7の1、同園。☎(922)2181。

「①わくわく実験教室」電話のなぞ②やさしい先端技術講座◆東芝科学館」①は9月13日(土)10時と13時、声が届く仕組みを実験②は9月19日(金)10時と13時半、水の蘇生技術を紹介。無料。各250人。申し込みは☎(549)2200の同館。川崎駅からバス。

「草木染教室◆市民プラザ」9月27日(土)10時から。無料。30人・抽選。9月19日(金)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎番号を記し〒213高津区新作1の19の1、同プラザ・同教室係。☎(888)3131。

「神奈川こども人形劇脚本コンクール作品募集」資格は県内在住在勤者。題材

は県内の昔話・伝説。県立青少年センター青少年文化部児童文化課内・同コンクール事務局で要項配布。☎045(241)3131内線3212。

「シネマクラブ」10月1日(日)14時。日本語吹き替え。無料。当日先着3百人。☎(287)6009の川崎港振興協会・振興課。

「観察会◆市青少年科学館ほか」①は9月6日(土)13時半、植物▽27日(土)10時、クモ。生田緑地で観察(雨天中止)②は10月12日(日)12月7日(日)13時半、コケの魅力。先着20人。いずれも無料。申し込みは①開始10分前、同館集合②9月14日(日)9時から☎(922)4731の同館。

「①星を見る夕べ②天体写真撮影会◆市青少年科学館」①は9月6、13日(土)18時(雨、曇りはプラネタリウム)、月・火星などを②は10月19日(日)18時(雨天中止)、木星を。先着14人。持参品あり。無料。申し込みは②9月21日(日)9時☎(922)

初めてふれるパソコン講座 II

受講者募集

- 日時——10月14日(火)～16日(木)10～16時
  - 会場——市教育文化会館学習室  
(JR川崎駅から徒歩15分、バスあり)
  - 対象——市内在住・在勤・在学の方
  - 受講料——9,000円(教材費別1,500円)
  - 定員——30人(抽選)
  - 使用機種——NEC PC9801DX-U
- ◆申し込みは、9月20日(土)～26日(金)の9～17時に☎(233)6250の当事業団川崎分室へ電話で(月曜休み)

学習・文化情報

おもしろいイベントがある

4731の同館。  
 「市民天体観望会」中秋の名月とお月見団子 ◆川崎授産学園」9月13日(土)19時、秋の星座を。無料。小学生以下は要保護者。雨天は集会。問い合わせ ☎(954)5011の同園。新百合ヶ丘駅からバス。  
 「民俗映像記録上映会」 ◆市民ミュージアム」9月21日(日)13時半。さくらもと受け継がれる在日の民俗文化▽ムータン〜同IIを上映。呉徳洙・映画監督の話も。300円。先着250人。申し込み ☎(754)4500の同館。  
 「特別総合労働相談会」 ◆県川崎労働センター」9月25日(木)26日(金)9時。弁護士が個別に。無料。電話も可 ☎(722)0171。  
 「秋の創作教室」 ◆市青少年創作センター」①はた織りは10月10日(祝)〜12日(日)②こども工作は11月2日(日)3日(祝)8日(土)9日(日)③Xマスケーキは12月23日(祝)④カリグラフィは10月9〜30日の毎週(木)、全4回⑤クレイアートは11月7〜28日の毎週(金)、全4回。①②13時半。他は9時半。④⑤成人、他は小中学生。受講料は④⑤2千円、他は無料。教材費は千〜2千円。定員10〜30人。9月19日(金)までに往復はがきに教室名、郵便番号、住所、氏名、☎番号、性別、①②③は学校名、学年を記し下214多摩区三田2の3303の1、同所。 ☎(911)1510。  
 「子ども創作クラブ」 ◆市青少年創作センター」9月27日〜12月7日(土)と12月23日(祝)13時半から、全8回。陶芸、料理。小学3年〜中学生。教材費3千円。先着30人。申し込みは9月2日(火)〜19日(金)に ☎(911)1510の同所。  
 「わら細工」 ◆日本民家園」9月27日(土)10時。小中学生無料。先着10人。申し込みは9月2日(火)から ☎(922)2181の同園。  
 「麻生区俳句大会作品募集」2句1組(何組みでも)。投句料1組千円。問い合わせは金曜10〜15時に ☎(951)13000の麻生区文化協会事務局。

ステージ



「千住真理子」写真無伴奏バイオリンの夕べ ◆靴ホール」9月26日(金)19時開演。テレマン「ファンタジー」▽バガニニ「ゆううつな心による変奏曲」ほか。全自由席4千円。問い合わせ ☎(812)6090の同ホール。溝ノ口駅下車。

「みんなで楽しむ演奏会」 ◆コーギー・コンサート」靴ホール」9月28日(日)14時、ピアノ独奏、バリトン独唱、フルート4重奏ほか▽10月10日(祝)14時、2台のピアノ、マンドリンアンサンブル、バイオリン、サクソフォン4重奏ほか。無料。 ☎(812)6090の同ホール。  
 「川崎音楽賞受賞者によるクラシックピアノの夕べ」 ◆市民ミュージアム」9

資格取得支援講座の受講者募集

〈会場〉市生涯学習振興事業団研修室 (小田急線新百合ヶ丘駅北口下車、徒歩2分)

講座名	期間	時間	受講料ほか	定員	申し込み期間
TOEIC (初級) 対策セミナー	初・中級とも 10月25日〜来年2月28日 土曜、全15回 (計30時間)	10:30~ 12:30	各 20,000円 教材費各 5,000円	各 25人	9月9日(火) ~11日(木)
TOEIC (中級) 対策セミナー		13:30~ 15:30			
社会保険労務士資格試験準備セミナー	11月29日〜来年4月25日 の土曜、全11回(計66時間)	9:30~ 16:30	50,000円 教材費 26,000円	50人	9月24日(水) ~26日(金)

●申し込みは、期間中の10~17時に ☎(952)5000の当事業団へ電話で。定員を超えた時は抽選



学習・文化情報

楽しいスポーツがある

ギャラリイ

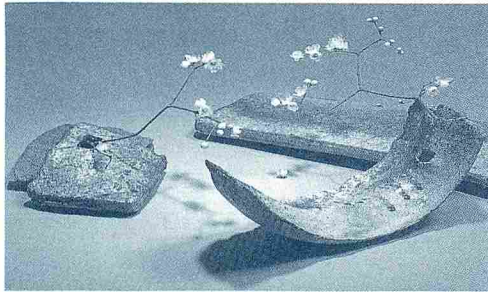
月20日(出)18時半開演。リスト「2つの演奏会用練習曲」▽シヨパン「舟歌」他を同賞優勝者が演奏。500円。先着300人。申し込みは9月2日(火)9時半から☎(754)4500の同館。

「ろうきん音楽を楽しむ会◆市立白山小」10月5日(日)14時。室内楽、童謡合唱無料。問い合わせは☎(989)1111の県労働金庫新百合丘支店(主催)。

「ギャラリイ幸」9月12日(金)〜17日(水)夜展▽19日(金)〜24日(水)夜展▽26日(金)〜10月1日(水)小原勝見と仲間たち展。☎(555)8181。川崎駅西口下車。

「スナック喫茶琴」9月27日(出)まで、日立絵画部の油絵▽27日(出)〜10月18日(出)中根千枝の写真▽18日(出)〜11月1日(出)飯島義春の写真と俳句。☎(544)0507。鹿島田駅下車。

「中村正義の美術館」9月3日(水)〜28日(日)中村正義常設展▽23日(祝)14時「スラ



イドでつづる正義の作品とその生涯」上映。一般500円など。23日は開館記念で無料。☎(953)4936。読売ランド前からバス。

「市民ミュージアム」11月30日(日)まで、無垢なる魂。三重県のアトリエで造形指導を受けるダウン症の子供らが自然を題材にした版画、彫塑。一般300円、小〜大学生100円▽9月20日(出)〜11月3日(祝)岡本一平展。一般700円、小〜大生300円。☎(754)4500。

「画廊ランプ屋」9月26日(金)〜10月4日(出)船越保作陶展Ⅱ写真。☎(945)

スポーツ

4416。稲田堤駅下車。

「IBM市民文化ギャラリー」9月4日(水)〜30日(火)白川昌生展。☎(233)3400。川崎駅東口下車。

「エアロビクス入門◆サンライフ川崎」10月17日からの毎週(金)9時半、全8回。3150円。保険料500円。先着30人。申し込みは9月16日(火)から☎(344)1777の同館。

「スポーツ教室◆麻生スポーツセンター」9月中旬〜11月に、バドミントン入門▽卓球入門▽親子スポーツ教室あり。問い合わせは☎(951)1234。

「スポーツ教室◆幸スポーツセンター」9月中旬〜11月に、卓球入門▽親子スポーツ教室あり。問い合わせは☎(555)3011。

「武道教室◆石川記念武道館」9月下旬〜11月に剣道▽少林寺拳法▽なぎなた▽合気道▽柔道あり。問い合わせは☎(544)0493。

「スポーツ教室◆市体育館」9月中旬〜12月に、シルバースポーツ教室▽健康・体力改善教室▽健康ヨーガ入門▽バドミントン・初級▽親子スポーツ教室▽ウォーキング・アンド・ストレッティングあり。問い合わせは☎(200)3255。

「スポーツ教室◆高津スポーツセンター」9月中旬〜12月に、こども卓球教室▽エアロビクスダンス▽健康づくり体操あり。問い合わせは☎(813)6531。

「スポーツ教室◆とどろきアリーナ」9月下旬〜12月に、バドミントン▽ダンベル体操▽はつらつ健康体操▽親子体力づくりあり。問い合わせは☎(798)5000。

読者の声

関田牧師に感動と共感  
多摩区、塚本昭二郎さん  
6月号「いまを話す」に感動しました。関田寛雄牧師は、いま、連日報道されているすべての層での腐敗、汚染スキャンダラスなモラル崩壊の根源は、天皇の戦争最高指導者としての責任をほかかむりした無責任にあると指摘しています。同氏より一年早い1927年生まれの私は、ほとんど時代背景を共有した世代であり、留飲が下がる思いで読み、「皇室タブー」にホソネの発言をした同氏の勇氣に拍手をおくりたい。これからは、ステージ・アッパが社会の根幹に迫る編集をすることを期待します。

\*  
すごい力を受けた  
習志野市、高木世津さん  
6月号、関田寛雄さんがゲストの「いまを話す」を拝読しました。静かなお話しの中からもすごい力を受け、私の手はごぶしをしつかり作っていました。幼い心に刺すたつた一言が、人の人格・人生を決定してしまふこと、牧師は、恐ろしくもありがたくも身のすくむ職であること、もう一つ「挫折や失敗の悲しみ以上にその悲しみから何も学ばないこと」苦しみを悲しみを



ごまかさず正面から受け止め、内側より癒えるまで耐えよ」の教えにとても感動し、共感をえました。

**差別は他人事でない**

茅ヶ崎市、谷口千寿子さん  
 関田寛雄さんの「いまを話す」は、ゲストとインタビュアーの息が合った濃い内容の展開に、引き込まれるように読みました。お話が具体的に説得力があり、共生や人権も、観念でなく李仁夏先生や関田先生の運動の現場を通してよく理解できました。また、川崎市の新しい施策の背景に、地道なお働きがあることが分かりました。「差別で人は痛み、傷つくだ」と自覚して、それを教育の根幹に据えることは極めて大切で、との発言は、深い示唆を与えてくれます。さらに「抵抗にかかわっていない限り『差別してはいけない』といきれない」という言葉に「差別は他人事ではなく、自分もそのことに心して生活していかなければ」と認識を新たにしました。

**編集後記**

「神戸・須磨の小学六年生殺害事件」は、犯行の残忍さに加え、容疑者が中学生とあつて社会に強い衝撃を与えた▼子供社会は大人社会の鏡(高橋清市長)であるなら、子供を凶悪な犯罪にかりたてる根は? ▼あるTV局の調査によると「A少年の『透明な存在』の気持ちがかかると答えた中学生が約半数▼そこに、いつ暴発するか分からない中学生の追い詰められた心の深刻さがある▼昔の子供は「早く大人になりたい」との夢とあこがれがあつたが、今の子供たちの多くは「大人になりたくない」と思っているという▼なぜ、夢が持てない子供が増えたのか▼矢田次男・弁護士は「子供の隠れ家が、家庭にも学校にも地域にもない。部活もボランティア活動も内申書に関係する」と述べる▼これでは子供たちは四六時中「いい子ちゃんごっこ」をせざるを得ない▼「親が子供を耐久消費財のように考え、自己責任を取らせる育て方をしていない」と宮台真司・都立大助教授▼「子供の自立」を妨げてきた大人が「子供の心の教育を重視」とは……▼むしろ「家庭をきちつとやっていくことも大事業」と小誌新春号「いまを話す」で、弁護士の大西千枝子さん(前川崎市市民オンブズマン)の言葉が説得力を持つ▼人間は十人十色だから素晴らしいのだ▼それが子供の育て方までマニュアル本に頼るようになった背景には、核家族化と地域社会の崩壊があり、多くの家庭が孤立して生活しているからである▼今号の「いまを話す」の野村満男さんの話は、二十数年前、複数の若い家庭が趣味を通して交流を深め、いまでは二世帯にわたって連帯を強めている「地域家族物語」▼家庭と地域社会が「元氣」になるシナリオ・提言をステージ・アップ編集チームまでお寄せいただければ幸いです(田)。

**発行**

(財)川崎市生涯学習振興事業団 〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二、新百合21ビル  
 電話 044(952)5000代 FAX 044(952)1350 編集人・田中 園

**岡本太郎 '97 TARO展**

—新しい美術館の創造と発信—  
 (無料)

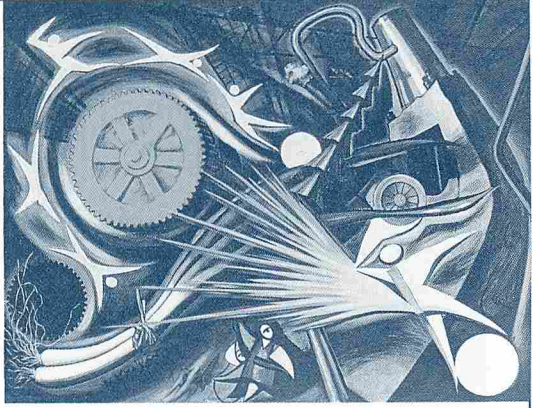
9月27日(土)~10月5日(日)  
 午前10時~午後7時

**新百合21ホール**

(小田急線新百合ヶ丘駅3分)

問い合わせは 岡本太郎美術館準備室 ☎(539)0635

主催=市教委/共催=市生涯学習振興事業団



「重工業」1949年

〈作品〉

「空間」1933年、「誇り」1962年など  
 油彩・版画・彫刻 35点